| 学校番号 | １０８ |
|---|---|

# 令和２年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | 家庭基礎 | 単位数 | ２単位 | 学年 | ２年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 最新生活ハンドブック 2020　資料＆成分表　（第一学習社出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取組みましょう。

・身近な生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分自身の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

## ２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を修得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 学習状況の観察<br>ノートやプリントの記述<br>調理計画、製作計画、実習記録表<br>レポート、発表<br>自己評価　等 | 学習状況の観察<br>ノートやプリントの記述<br>調理計画、製作計画、実習記録表<br>レポート、発表<br>定期考査の結果<br>自己評価・相互評価等 | 学習状況の観察<br>ノートやプリントの記述<br>製作品<br>観察記録表<br>レポート、発表<br>定期考査<br>自己評価・相互評価等 | 学習状況の観察<br>ノートやプリントの記述<br>調理計画、製作計画、実習記録表<br>観察記録表<br>レポート、発表<br>定期考査の結果等 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 自分らしい人生をつくる | ○自分を見つめる<br>・生涯発達の視点<br>・青年期をどう生きるか<br>・自己を知る<br>○目標をもって生きる<br>・将来の生活を展望する | ○ | ○ | ○ | ○<br>○ | a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c:事例研究などを通して、青年期の生き方について考える技術を身に付けている。<br>d:青年期の課題について理解し、人の一生を自分自身の問題として捉えるための知識を身に付けている。 | 授業観察<br>プリント<br>定期考査 |
| | ささえあって生きる | ○家族・家庭を見つめる<br>○これからの家庭生活と社会 | ○<br>○ | ○<br>○ | ○ | ○ | a:家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c:事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。<br>d:生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分自身の問題として捉えるための知識を身に付けている。 | 授業観察<br>プリント<br>定期考査 |
| | 衣生活をつくる | ○被服の機能と着装<br>・何をどう着るか・TPO<br>○被服の管理と計画<br>・界面活性剤のはたらき<br>・繊維の違い<br>○被服製作(実習) | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。<br>c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。<br>d:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>プリント<br>製作計画<br>実習ﾚﾎﾟｰﾄ<br>製作物<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 経済生活を営む・生活を設計する | ○賢い消費者になる<br>・消費行動と意思決定<br>・契約の重要性（成人年齢引き下げにより重点的に）<br>・キャッシュレス社会のメリット・デメリット<br>・消費者の権利と責任<br>・ライフスタイルと家計管理や経済計画の重要性<br>○生涯を見通す<br>・自分のめざすライフスタイル<br>・生涯を見通した生活設計 | ○<br><br><br><br><br>○<br><br><br>○ | ○<br><br><br><br><br>○<br><br><br>○ | ○ | ○<br><br><br><br><br>○ | a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。<br>c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。<br>d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>プリント<br>定期考査<br>自己評価<br>相互評価 |
| | 食生活をつくる | ○食生活の管理と健康<br>○食事と栄養・食品<br>○食生活の安全と衛生<br>○調理の基礎<br>・調理実習（9月～11月） | ○<br>○<br>○ | ○<br>○ | <br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。<br>c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。<br>d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>プリント<br>実習レポート<br>定期考査 |
| | 子どもと共に育つ | ○子どもの育つ力を知る<br>○親として共に育つ<br>・子どもの発達と保育<br>・子どもの生活と保育<br>・子育て支援 | ○<br>○ | ○<br>○ | <br>○ | ○<br>○ | a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c:子どもと適切に関わることができる、子どもの健やかな発達を支えるための技術を身に付けている。<br>d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>プリント<br>レポート<br>発表<br>観察記録表<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 住生活をつくる・子どもと共に育つ | ○住まいは暮らしの器<br>・安全で快適な住居<br>・住宅広告を読む<br>○住宅設計図制作 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。<br>c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。<br>d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>プリント<br>実習ﾚﾎﾟｰﾄ |
| | 共に生き、共に支える | ○よりよく生きるために<br>・私たちの生活と福祉<br>○現代日本の抱える問題を生活者の視点(高齢者福祉、防災・減災、社会保障等)で捉える<br>・高齢者体験実習 | ○<br>○ | ○ | ○ | ○<br>○ | a:共生社会と福祉について家庭や社会の一員として関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざし社会の一員として何ができるか考え、工夫している。<br>c:地域で行われているコミュニティ活動や NPO 活動などについて、情報を収集・整理したり、参加したりする技術を身に付けている。<br>d:共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識を身に付けている。 | 授業観察<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>ﾚﾎﾟｰﾄ<br>発表<br>自己評価<br>相互評価 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

※　尚、各学期の授業時数を考慮し行う項目を限定する場合がある。